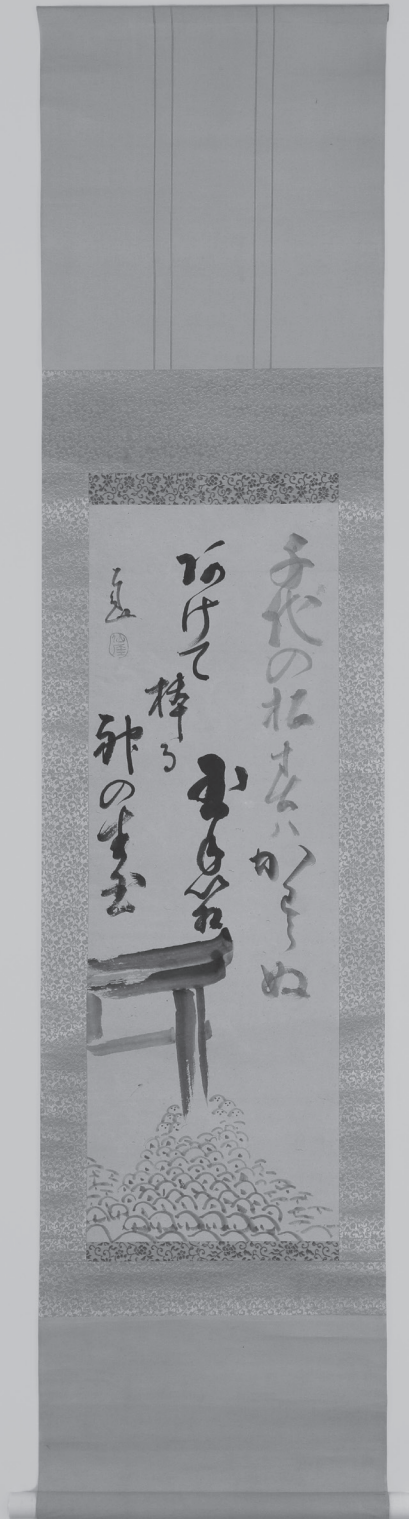


令和6年1月号

令和6年1月1日発行（毎月1日発行）

第25巻 第1号 通巻286号



仙厓「玉せせり図」。玉せせりは、博多の宮崎宮で毎年正月に行われる祭で、裸に締め込み姿の男たちが幸運をもたらすとされる玉を奪いあうのだ。この祭は現代においても行われている。先月号のクローズアップは、鳥居の柱の周辺で玉を争っている男たちであった。男たちは鳥居の両柱に向かって進んでゆく。空を仰ぐ顔のなんと無邪気でかわいらしいことか。

画賛の和歌は「千代の松春はかわらぬ玉手箱あけて捧る神の生玉」。玉せせりの玉の神徳を讃えているのだろう。鳥居の柱と下部とが白く抜かれて、柱の根本にあるだろう玉から光が走っているように見える。和歌も「千代の松春は」の部分で、あえて薄墨で書きはじめている。この薄い墨の色にも玉からの光を感じるのだ。（小澤 實）

澤 1月号 目次

賀詞……………4

「澤曆」令和六年……………5

「澤」創刊二十四周年記念吟行俳句大会のお知らせ……………6

「澤」創刊二十四周年記念吟行俳句大会吟行地案内

仙台市内篇 佐藤涼子……………8

澤通信句会のお知らせ……………10

澤三賞(潺潺賞・新人賞・叢林賞)・新同人選考委員……………15

小澤 實 隠岐 十五句……………16

高橋睦郎 季語練習帖 第一六九回……………18

潺潺集 小澤 實選……………20

田の神 石橋志野 狷銃 江藤鳥歩

人斬る音 菱田嘉春 木の柿 村田さやか

男の味 結城あき 虹彩認証 今朝

ざらざら 川上弘美 同じ吊革 長谷川照子

眼下の富士 川口正博 白湯 藤田基夫

ひだり手幅 左官屋宇兵衛 ペコ 杉野正恵

肉球 周藤迪之相 孤独死 岸トミ子

押し割る 中村敏彦 水引 大野善雄

大黒柱 栗生

特集／左官屋宇兵衛句集『イタリー銃』を読む

贖罪の想いを籠める 周藤迪之相……………26

熊身に塩 磯貝一沙……………28

銃は撃たれた 梶等太郎……………29

相沢佳子／青木弓子／青沼まみ／秋山 紅／蘆立角翠／
遊菜／荒井さくら／池田慶子／池田瑠那／石田秀子／石
橋志野／磯貝一沙／市川真冬／伊藤泰子／井上雅恵／今
井 恵／石見光夫／内野永子／内堀いつほ／江上久美子
／江藤鳥歩／えんどうようこ／遠藤陽子／及川 澄／大
木圭之介／大木由美子／オオタケシゲヲ／大竹安子／大
谷景子／大塚ふみ／大野善雄／大堀 柔／岡本春水／お
きのきらら／小澤たえみ／押野 裕／小田まり／笠井た
かし／梶等太郎／片岡昌子／加藤寒月／加藤鈺物／角田
康輔／金澤諒和／加納 燕／川口正博／河辺柚里／上林
七葉／喜心／木内縉太／蔵田かをり／栗山節子／黒澤佳
子／今朝／小池風子／兒玉猫只／近藤信男／佐藤昭子／
篠田じゅん子／篠田洋子／嶋田恵一／清水ましろ／下久
保恵子／朱雨／周藤迪之相／白崎俊火／新澤 岳／鈴木
尚子／鈴木桃子／鈴木弥佐士／妹尾題弘／汕としこ／大
文字明成／大文字良／たが啓子／高野鈴子／高野麻衣子
／高橋和志／高橋まさお／高橋美穂子／竹内茂子／竹岡
たつ子／武田円笑／多田たか子／千葉典子／鶴見澄子／
寺島 麦／戸川由紀子／戸田いぬぶぐり／戸田典々／豊
田・ヌー／中川ノエ／長嶋佐渡／中田富子／仲 白良／

中村 麻／中村敏彦／中山あい／中山雅弘／鍋山紀子／
新村秀人／西村 理／布田恭子／沼田美山／根岸哲也／
野口桐花／野崎海芋／信太 蓬／長谷川照子／花岡安佐
枝／早崎直子／半田羽吟／東徳門百合子／菱田嘉春／平
嶋さやか／廣瀬温代／福原桂子／藤田基夫／富士峰律子
／藤原琴音／冬魚／鳳 佳子／ホンダ葉／牧原奈緒美／
町田無鹿／松川みゆき／松野篤子／丸田紫苑／水谷敦子
／水谷り得子／光本蕃茄／南 幸佑／宮崎玲子／村上佳
乃／村越 敦／村田さやか／望月とし江／森下秋露／森
永一正／森山くるみ／八木橋やえ子／矢鳥俊缶／柳元佑
太／山岸樵鹿／山口土器／山口刃心／山下希記／夜森く
みん／結城あき／弓緒／吉川千早／吉田星潮／吉成沢子
／吉村たまみ／余村光世／渡邊蒼舟／渡邊のぶお／ゑる
吉

鼎談「読むことの喜び」令和五年の澤俳句………54
喜心／山口刃心／野崎海芋

「新同人候補者推薦」「同人二〇二三年の一句」募集につ
て………63

澤俳句鑑賞 284

岩田 奎……………64

森下秋露……………66

窓

俳書を読む

黒田杏子『八月』／高橋紀美子『天空の星』／加根兼光

『あの年、四月の花』／馬場龍吉『ナイアガラ』／廣瀬悦

哉『里山』 木内縉太……………68

詩文学芸書を読む

Pippo (びっぼ) 編著『人間に生れてしまったけれど――

新美南吉の詩を歩く』 根岸哲也……………70

総合誌俳句鑑賞

「俳句」「俳句界」各十一月号 今朝……………72

俳句結社誌を読む

「炎環」令和五年 五月号 梶等太郎……………74

定例句会の秀句 服部つぐみ……………76

通信句会の秀句 蔵田かをり……………78

仙厓のこと 十 栗生……………80

潺湲集巻頭作家エッセイ 大和寿美子……………82

澤集巻頭作家エッセイ 平嶋さやか……………83

同人代表句 江上久美子／松川みゆき……………84

同人一句鑑賞 山岸樵鹿／篠崎弥生……………85

澤衍……………86

澤四十句 小澤 實選……………88

選後独言 田の神への願い 小澤 實……………90

澤集 小澤 實選……………92

山下希記／井上雅恵／清水ましろ／半田羽吟／加納 燕／
中井亜由／田中 槐／内野永子／新村秀人／森下秋露／オ

オタケシゲヲ／町田無鹿／村越 敦

消息……………125

新入会員／12月号発送報告……………126

第239回定例会1月ご案内……………127

「俳句を豊かにするもの」原稿募集のお知らせ……………128

澤俳句叢書一覽……………129

雑誌「澤」購読のご案内／購読料更新のお知らせ／
澤基金募集のお願い……………130

澤基金応募者芳名／投句のご案内……………131

澤句会・カルチャー一覽……………132

広告……………133
後記……………138

デザインⅡ山口信博 写真Ⅱ大友洋祐 表紙監修Ⅱ栗生

澤三賞（潺潺賞・新人賞・叢林賞）選考委員

周藤迪之相／田沼和美／馬場尚美／小澤 實
司会 望月とし江

新同人選考委員

生井敏夫／椎野順子／寺島 麦／結城あき／小澤 實

両選考会は、令和6年2月17日（土）に対面で行う予定です。

澤
令和6年1月1日発行
澤 俳句会
頒価 1,200円